事例No.	2748
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	株式会社キャッセン大船渡

事例区分	地域活性化

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・地域運営組織 ・関係人口

事例種類	地域資源の活用

事例内容・タイトル

キャッセン大船渡の
拓き、広げる、大船渡のまちづくり

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集



ふるさとづくり大賞 ―団体表彰―

キャッセン大船渡の

拓き、広げる、大船渡のまちづくり

株式会社キャッセン大船渡（おおふなと）



取組の概要

東日本大震災で被災した大船渡駅周辺地区に、中心市街地の機能を再生するために発足した大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会は、エリアマネジメントの手法によりまちづくりを進めること及びその推進母体となるまちづくり会社を設立することを決定し、官民の共同出資によりまちづくり会社「株式会社キャッセン大船渡」を設立。同社は、大船渡駅周辺のまちの文化を 100 年後まで継承することを事業方針とし、地理的に分断された居住区と商店街を繋ぐため、まちのステークホルダーとの交流やイベントを重視した活動を展開。

取組のプロセス

2011年 → きっかけ

市の復興計画策定
翌年のまちづくりワーキンググループでエリアマネジメントの必要性について委員から提言があった



2014年～

エリアマネジメントパートナー企業の決定

・市において大船渡駅周辺地区のグランドデザイン及び拠点区域の基本計画（案）を検討、エリアマネジメントの推進及びまちづくり会社の位置づけが盛り込まれる
・エリアマネジメントパートナー企業の決定と協定締結（大和リース株式会社）



共に取り組むパートナー企業が登場

・エリアマネジメントの仕組みづくり
・各街区の予定借地人の決定

大船渡駅周辺地区官民連携まちづくり協議会設立

・リスクを負う関係者（ステークホルダー）でビジョンや方向性を検討

・生活者の変化する価値観に対応できるか検討
・チャレンジと検証を繰り返すまちを作る

2015年～

株式会社キャッセン大船渡の設立

①エリアマネジメント事業
　・大船渡駅周辺地区全体の魅力創出
　・津波復興拠点区域全体の高質化
②不動産賃貸事業
　・商業施設の整備・運営
　・商業街区開発
③都市計画事業
　・都市計画プランニング
　・デザイン



・出資･市(24.9%)、商工会議所、借地人企業、パートナー企業、地元金融機関

2017年～

キャッセンの商業施設完成

・市と連携したプレイスメイキングの開始
・タウンプロモーションの開始
・都市再生推進法人として指定される



・地域ニーズにフィットする空間の構築
・まちの高質化

2019年～

エリアマネジメント分担金の活用開始

・数々のイベント実施
・公共空間の利便増進協定の締結
・まちづくりを担う人材の育成





今後の展望

- **まちに関わる人からアイデアが生まれる土壌の形成**
- **多様な主体によるチャレンジと検証が繰り返される**
- **これまで得られた知見の活かし方を考える**

DATA

事例名：『拓き、広げる、大船渡のまちづくり』
　　株式会社キャッセン大船渡
所在地：岩手県大船渡市大船渡町字野々田 12-33
連絡先：TEL・FAX 0192-22-7910
　　E-mail kyassen@chic.ocn.ne.jp
ホームページ：https://kyassen.co.jp/

